

## 第10回 UIIL-ILP (国際試験所間比較試験) の募集・実施要領

2016年4月20日最終版  
一般社団法人日本環境測定分析協会  
UIIL-ILP 委員会事務局

一般社団法人日本環境測定分析協会は、2001年より国際民間分析試験所連合(UIIL<sup>1</sup>)の Board Member として活動しています。

このたび、第10回 UIIL-ILP<sup>2</sup>(国際試験所間比較試験<sup>3</sup>)を実施することになりましたので、参加試験所を募集いたします。UIIL-ILP は、国際的な試験所間比較試験として、2006年より実施しており、現在までに、日本、アメリカ、アルゼンチン、オランダ、カナダ、スペイン、ドイツ、ブラジル、フランス、ベルギー、ポルトガル、メキシコ、中国及び韓国の民間試験所が参加しています。

第10回 UIIL-ILP では、下記を特徴としています。

1. 試料の形態は、夾雑物をほとんど含まない液体であること。
2. 試験対象項目を世界各国で興味を持たれている9項目としたこと。
3. 値段をできるだけ安価にしたこと。

できるだけ多くの試験所が第10回 UIIL-ILP に応募していただきますよう、よろしくお願いいたします。

### —参加要領・実施要領—

1. 試験名 天然水中の陽イオン及び陰イオン

※結果の報告は、試験対象項目の中で貴試験所が報告可能な項目のみで結構です。

2. スケジュール (予定) 申込受付 平成28年2月29日(月)~3月25日(金)

試料配付 平成28年4月25日又は26日(月、火)

※期日指定とします

報告期限 平成28年6月3日(金)

上記報告期限は日環協事務局必着とし、修正等による報告期限も同様とします。

報告書発行 平成28年10月頃

※試料配付及び報告期限については、試料調製、輸送事情等により変更する場合があります。変更時には、速やかにご連絡いたします。

3. 申込方法

従来の技能試験で使用している「ID、パスワード」を使ってインターネットから申込、報告ができます。インターネットで申込、報告ができない場合は、代理入力依頼用紙を使用して FAX で申し込んでください。詳細については、(一社)日本環境測定分析協会のホームページ (<https://www.jemca.or.jp/>)の「UIIL-ILP」をご覧ください。  
お問合せ等ありましたら、下記までご連絡ください。

(一社)日本環境測定分析協会 UIIL-ILP 委員会事務局

〒134-0084 東京都江戸川区東葛西 2-3-4 JEMCA ビル

TEL 03-3878-2811 FAX 03-3878-2639

4. 参加費用の払込

(ア) 参加費用は以下の通りです。

日環協正会員 20,000円(税込)

日環協正会員以外 31,000円(税込)

(イ) 試料同梱の請求書(兼払込取扱票)を用い、(一社)日本環境測定分析協会へ参加費用の振込みをお願いいたします。

(ウ) 参加費用には、試料費、報告書及び参加認定証並びに輸送費などの全費用が含まれます。

<sup>1</sup> UIIL: Union Internationale des Laboratoires Indépendants

<sup>2</sup> ILP: Inter Laboratory Practice

<sup>3</sup> 試験所間比較試験: 第10回 UIIL-ILP より「Inter Laboratory Practice」の日本語表記を「試験所間比較試験」と名称を変更しました。

## 5. 試料

(ア) 次の 2 試料です。

(1) 試料 1 UILI-ILP10-2016 natural water-1

(2) 試料 2 UILI-ILP10-2016 natural water-2

(イ) 日本の参加試験所へは、(一社) 日本環境測定分析協会から配付します。

(ウ) 試料 1 及び試料 2 は、それぞれ 100 mL プラスチック製容器に充填してあります。

## 6. 試験対象項目

(ア) 試験対象項目は、以下の元素(9 項目)です。

カルシウムイオン (Ca<sup>2+</sup>)      カリウムイオン (K<sup>+</sup>)      マグネシウムイオン (Mg<sup>2+</sup>)

ナトリウムイオン (Na<sup>+</sup>)      塩化物イオン (Cl<sup>-</sup>)      ふっ化物イオン (F<sup>-</sup>)

硝酸イオン (NO<sub>3</sub><sup>-</sup>)      リン酸イオン (PO<sub>4</sub><sup>3-</sup>)      硫酸イオン (SO<sub>4</sub><sup>2-</sup>)

(イ) 2 試料中の各試験対象項目の予想される濃度範囲は、次の通りです。

試験対象項目	濃度範囲 (単位 : mg/L)	
	試料 1 UILI-ILP10-2016 natural water-1	試料 2 UILI-ILP10-2016 natural water-2
カルシウムイオン (Ca <sup>2+</sup> )	1 ~ 200	1 ~ 200
カリウムイオン (K <sup>+</sup> )	1 ~ 100	1 ~ 100
マグネシウムイオン (Mg <sup>2+</sup> )	1 ~ 50	1 ~ 50
ナトリウムイオン (Na <sup>+</sup> )	0.1 ~ 50	0.1 ~ 50
塩化物イオン (Cl <sup>-</sup> )	1 ~ 50	1 ~ 50
ふっ化物イオン (F <sup>-</sup> )	0.05 ~ 5	0.05 ~ 5
硝酸イオン (NO <sub>3</sub> <sup>-</sup> )	1 ~ 50	1 ~ 50
リン酸イオン (PO <sub>4</sub> <sup>3-</sup> )	0.1 ~ 50	0.1 ~ 50
硫酸イオン (SO <sub>4</sub> <sup>2-</sup> )	1 ~ 50	1 ~ 50

(ウ) 送付試料は、認証値等を持っていません。

## 7. 試料の前処理方法及び測定方法

前処理方法、測定方法は指定いたしません(貴試験所に一任いたします)が、添付資料-1 を参照し、採用した前処理方法、測定方法を選択し(前処理方法及び測定方法の項目毎に)番号で報告してください。

## 8. 試験結果等の報告

(ア) 各試料について前処理(試料の秤り取り)から独立した測定を 2 度行い、2 つの結果の平均値を報告してください。1 回しか測定できなかった場合は、その測定値で構いません。

(イ) 試料 1、試料 2 ともに必要に応じて前処理を実施してください。

(ウ) 報告値は有効数字 3 桁で、試料 1 及び試料 2 について報告してください。

(エ) 結果の報告については、試験対象項目 9 元素の中で、貴試験所で報告可能な項目のみで結構です。

(オ) 結果報告書の記入要領について

(1) 前処理方法(Pre-treatment Method)及び測定方法(Measurement by Instrument)については添付資料-1 の(A)及び(B)の『No.』欄の数字を記入してください。組み合わせで採用した場合は複数の『No.』欄の数字を記入してください。

(2)前処理方法について、“その他”を選択される場合は具体的な方法名を備考欄に記入してください。

(3)試験結果については、『試料 1』及び『試料 2』の欄に単位：mg/L で記入してください。

(4)報告用紙については、所定の第 10 回 UIIL-ILP 結果報告書用紙を使用してください。修正時も同様とします。

所定の報告書用紙を使用しない報告は受け付けません。

(カ)結果報告期限は、平成 28 年 6 月 3 日(金)です。

※ 上記結果報告期限は、日環協事務局必着とし、修正等による報告期限も同様とします。

#### 9.試験結果報告のとりまとめ(報告書)

(ア)技能試験結果のとりまとめ(正式版)の発行は平成 28 年 10 月頃となる予定です。

(イ)報告書は、電子媒体及び印刷物で参加試験所に配付される予定です。

(ウ)報告書には、四分位数法(APLAC T002)を用いた z-score (ISO/IEC 17043)及び Confidence Ellipse for Youden Plot (ISO 13528) が含まれる予定です。

(エ)測定方法を統一した試験ではありませんので、報告書に記載される各種統計量は参考としてご使用ください。例えば、中央値が「特定の値」に近似しているとは限りません。

(オ)報告書には報告試験所名が記載されます。各試験所の報告値は試験所番号で識別されます。試験所名と試験所番号の関連付けは記載されません。

#### 10.その他

(ア)本試験自体あるいは本試験の試験結果のとりまとめ(報告書)は、参加試験所あるいは関係する個人の能力や優劣を主催者や第 3 者が判定するものではありません。

(イ)試験結果を報告された試験所には UIIL から参加認定証が発行されます。

以上

## UILI-ILP 委員会

UILI 役職	代表役員	国	協会名
会 長	Drs. Luc H A Scholtis	オランダ	Vereniging van Raadgevend Scheikundige Laboratoria (VRS)
前 会 長	Dr. Manahén Fernandez-Alonso	スペイン	
副 会 長	Dr. Alvaro Silva Ribeiro	ポルトガル	Associação de Laboratórios Acreditados de Portugal (RELACRE)
副 会 長	Mr. Jorge Oliver-Rodés	スペイン	Asociación Española de Laboratorios Independientes (AELI)
財務担当	Dr. Toru Matsumura	日本	Japan Environmental Measurement and Chemical Analysis Association (JEMCA)
事務局長	Ms. Mary-Anne Adeeko	ナイジェリア	Institute of Public Analysts of Nigeria (IPAN)
非協会 会員代表	Dr. Alfredo Montes-Nino	ブラジル	Micriobioticos Analises Laboratoriais
非協会 会員代表	Mr. Jan Soers	ベルギー	GEOS
代 表	Mr. Gib G McIntee	カナダ	Canadian Council of Independent Laboratories (CCIL)
代 表	Dr. J. Horacio Denari	アルゼンチン	Cámara Argentina de Laboratorios Independientes Bromatológicos, Ambientales y Afines (CALIBA)
代表代理	Drs. J. H. F. van der Wart	オランダ	Vereniging van Raadgevend Scheikundige Laboratoria (VRS)
代表代理	Mr. Masahiro Tanaka	日本	Japan Environmental Measurement and Chemical Analysis Association (JEMCA)
事 務 局	Ms. Melissa M. Fernández Valero	スペイン	

### 日本事務局

一般社団法人日本環境測定分析協会 UILI-ILP 委員会

委員長 松村 徹  
副委員長 村上 雅志  
事務局 笹尾 照夫

**添付資料-1**

## (A) 前処理方法(Pre-treatment Method)

No.	前処理方法	方法(Method)	略号
1	前処理なし	Non pre-treatment	NON
2	蒸留法	Distillation	D
99	その他	Others	Others

## (B) 測定方法(Measurement by Instrument)

No.	測定機器	機器(Instrument)	略号
1	滴定法	Titration	Tit
2	比色/吸光光度法	Absorption photometry	AS
3	原子吸光分析(フレイム法)	Atomic absorption spectrophotometry (flame)	AAS
4	原子吸光分析(ファーネス法)	Atomic absorption spectrophotometry (furnace)	ETAAS
5	誘導結合プラズマ発光分光分析	ICP-AES	ICP-AES
6	誘導結合プラズマ質量分析	ICP-MS	ICP-MS
7	イオンクロマトグラフ	Ion-chromatography	IC
8	イオン電極法	Ion-selective electrode	IE
9	フローインジェクション法	Flow injection analysis	FIA
10	連続流れ分析法	Continuous flow analysis	CFA
99	その他	Others	Others

## 第 10 回 UIIL-ILP 参加申込書「代理入力依頼」

### 天然水中の陽イオン及び陰イオン分析

事務局記入欄	
--------	--

#### 試験所情報

技能試験 ID		P
		※日環-XX の技能試験 ID と同一の ID を記入してください。 ID を紛失した場合は事務局までお問い合わせください。
社 名		
社名カナ		
試験所名 (支社名)		
区 分		日環協法人正会員 ・ 一般 ※どちらかに○をつけてください。
技能試験 実施責任者	氏名	
	所属	
連絡先	TEL	
	FAX	
	E-mail	
住所	郵便番号	〒
	都道府県	
	住所	
試料送り先	※試料の送り先が住所と異なる場合は記入してください。	
	郵便番号	〒
	都道府県	
	住所	
	宛名	

#### 申込内容

試料申込数	1	組 ※1 試験所につき 1 組のみを原則とする
-------	---	-------------------------

## 第 10 回 UIIL-ILP 結果報告書「代理入力依頼」

(1/2)

### 天然水中の陽イオン及び陰イオン分析

事務局記入欄	
--------	--

技能試験 ID	P	
	※ID を紛失した場合は事務局までお問い合わせください。	
社 名		
社名カナ		
試験所名 (支社名)		
区 分	日環協法人正会員 ・ 一般 ※どちらかに○をつけてください。	
技能試験 実施責任者	氏名	
	所属	
連絡先	TEL	
	FAX	
	E-mail	
住所	郵便番号	〒
	都道府県	
	住所	

- ・ 報告期限 : 平成 28 年 6 月 3 日 (金)  
報告期限は日環協事務局必着とし、修正等による報告期限も同様とします。
- ・ 報告桁数は、有効数字 3 桁とします。
- ・ 試料 1、試料 2 ともに添付資料-1 を参照し、採用した前処理方法、測定方法を選択し(前処理方法及び測定方法の項目ごとに)番号で記入してください。
- ・ 前処理方法、測定方法において、“その他”を選択される場合は、具体的な方法名を備考欄に記入してください。
- ・ 報告様式については、所定の第 10 回 UIIL-ILP 結果報告書用紙 (計 2 ページ) を使用してください。修正時も同様とします。

## 第 10 回 UIILP 結果報告書「代理入力依頼」

(2/2)

社名および試験所(支社)名	
---------------	--

試験対象項目	前処理方法 No		測定方法 No		試験結果(単位 : mg/L)	
	No	備 考	No	備 考	試料 1	試料 2
カルシウムイオン (Ca <sup>2+</sup> )						
カリウムイオン (K <sup>+</sup> )						
マグネシウムイオン (Mg <sup>2+</sup> )						
ナトリウムイオン (Na <sup>+</sup> )						
塩化物イオン (Cl <sup>-</sup> )						
フッ化物イオン (F <sup>-</sup> )						
硝酸イオン (NO <sub>3</sub> <sup>-</sup> )						
りん酸イオン (PO <sub>4</sub> <sup>2-</sup> )						
硫酸イオン (SO <sub>4</sub> <sup>2-</sup> )						

- ※ 報告期限 : 平成 28 年 6 月 3 日 (金)  
報告期限は日環協事務局必着とし、修正等による報告期限も同様とします。
- ※ 報告桁数は、有効数字 3 桁とします。
- ※ 試料 1、試料 2 ともに添付資料-1 を参照し、採用した前処理方法、測定方法を選択し(前処理方法及び測定方法の項目毎に)番号で報告してください。
- ※ 前処理方法、測定方法において、“その他” を選択される場合は、具体的な方法名を備考欄に記入してください。
- ※ 報告には、第 10 回 UIILP 結果報告書用紙 (計 2 ページ) を使用してください。修正時も同様とします。